

# オトメクジャク

*Adiantum edgeworthii*

ホウライシダ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 II

シダ植物



日本では大分県だけに生育している常緑性のシダ植物。日当たりのよい水田の畔岸あせぎしの石垣の間や道路の法面のりめんなどに生える。葉の長さは10～15cmで、先端部は長く伸びて芽をつけ、それが地面に接して殖える。1940年に日本で初めて安心院町で確認された。生育地は極めて少なく、そのうち2か所は天然記念物として保護されている。農地の基盤整備工事や道路の拡幅工事などで生育範囲が狭くなっており、また、人による採取もあって、絶滅の危険性が高くなっている。

(写真：辻 寛文 文：高岡芳憲)

県内分布 耶馬溪地区，別府湾沿岸域

分布域 九州（大分）

中国東北部からフィリピン，インド